

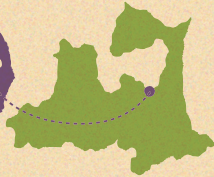


## 祭 野辺地の山車行事 (通称)のへじ祇園まつり

北前船により上方から伝わったとされる、野辺地八幡宮の例祭の時に行われるお祭りで、毎年8月中旬に行われます。祭りでは、ふなやま船山車と毎年作り変えるふりゆうだし風流山車の2種類がみられるほか、ぎおんばやし祇園囃子や神楽の芸能も見るができます。



野辺地町



きたまえちゃんとかワラケツメイ

日本遺産

# 北前船

あれこれ



▲野村銀行(野村家)



▲昔の本町(真ん中が石畳)

いまでも街中に北前船で運ばれてきた石が残っているのね



## 野村 治三郎 のむら じさぶろう

南部盛岡藩の御用港として栄えた野辺地には、多くの商人がいました。代表的な商人は「野村治三郎」。千石船を5~6艘所有していた豪商でした。野村氏は、北前船で野辺地に多くのモノを運んできており、町内には野村氏が運んできた常夜燈等の様々な石造物が残されています。



▲常光寺常夜燈

北前船により伝わったとされる「カワラケツメイ」。これを焙煎し、お茶にしたものでつくられるお粥です。町の豪商が朝食として食べていました。現在カワラケツメイは加工品としても使用され、カワラケツメイ入りのお菓子やそば、うどん等の商品も生まれています。



## 食 カワラケツメイの茶がゆ

のへじまつり

のへじまつり